

公共施設！

5分で読める
公共施設のこと

公共施設マネジメントシリーズ

●問い合わせ
財政経営課 内線221



No.24

「東浦中学校・東浦文化広場」

「東浦中学校ワークショップ」「整備計画検討会」のお話

町では、公共施設再配置計画でモデル事業として位置付けられている、森岡地区拠点施設と東浦中学校・東浦文化広場の検討を進めています。今回は、このうち東浦中学校・東浦文化広場について紹介します。なお、東浦中学校・東浦文化広場は、2025年7月に基本構想を策定し、現在、基本計画を検討しています。



5月11日開催

東浦中学校ワークショップ

「みんなの想いを言葉にしよう 新しい学校のカタチ」

これまで出た検討内容を
一部ご紹介！

東浦中学校の好きなところ、
課題だと思うところなどを話し合いました。

参加者

18名の生徒と3名の先生

東浦中学校の好きなところは？

- あおば教室やグローバル教室など多様な人が通える
- 特別教室がまとまって配置されていてわかりやすい
- 体育館と飛翔館の2つがあり、用途で使い分けられる
- グラウンドが広くてよい
- 日当たりがいい

課題だと思うところは？

- 教室が昇降口や職員室、特別教室から遠い
- 全学年で交流できるスペースがない
- 体育館にステージ・観覧席があるとよい
- 廊下が狭くて通りにくい
- 駐車場が狭い
- 藤江地区や生路地区から遠い

6月21日開催

整備計画検討会

「東浦中学校・東浦文化広場の整備についてみんなで考えよう！」

東浦中学校で、どのような利用や活動がしたいか、
不安に感じていること、課題だと思うことなどを話し合いました。

参加者

住民など45名

東浦中学校でどんな利用や活動がしたい？

- 生徒と地域が交流
- 防災拠点としての利用
- スポーツ拠点やスポーツをまちで支える場
- 地域クラブや一般利用と共用
- 被服室や料理室の地域開放
- 全校生徒が集まれる場所

不安に感じていること、課題だと思うことは？

- セキュリティと交流のバランス
- 歩行者や自転車が通りやすい通学路
- 授業と地域利用の兼ね合いが取れるか
- 体育館の大きさ
- 緊急車両が通りやすい動線
- 人口推計を踏まえた施設整備

いただいたご意見などを生かし、今後の基本計画を検討していきます。